



ツジ薬局が北名古屋に新設する住宅型有料老人ホームのイメージパース

調剤薬局とドラッグストアをチェーン展開するツジ薬局（本社清須市上器野、辻秀典社長、電話052・400・0867）は、9月に北名古屋市内西之保中社21の1に地域包括ケアをめざした住宅型有料老人ホームを新設する。投資額は調剤薬局を含め1億1千万円。14室を用意する計画で、工事を進めている。すでにクリニックと薬局は開設。介護保険の費用負担を含め「利用料は月額15万円以内に抑える。モデルケースとしたい」（辻社長）とし、さらなる増設も視野に事業を展開する方針。

（清須）

同社が運営する調剤薬局も含めた敷地面積は約3300平方メートル。25台分の駐車スペースを確保した。クリニックは別法人が設置したもので、消化器内科と小児科を手がける。調剤薬局とともにすでに運営を開始している。

医師や薬剤師、看護師、介護士、ケアマネジャー、ヘルパーでネットワークを構成。隣接地にある高齢者のシルバー人材センターや障害者施設とも連携し、高齢者が一元的に居住できるエリアを形成する。

同社は1963年創業。清須市を中心に北名古屋市や稲沢市、あま市などで調剤薬局7店舗、ドラッグス



辻秀典社長

ツジ薬局

地域包括ケア住宅新設

病院や調剤薬局一体化 北名古屋に9月完成

トア2店舗を展開している。また、居宅介護支援事業にも進出し、関連会社の福神や福神デイサービスセンターが事業を広げている。2014年12月期の売上高は11億円。従業員数は80人。

辻社長が1999年に薬剤師としてケアマネジャーの資格を取得。2000年に介護事業へ参入し、デイサービスや福祉用具のレンタル事業などを手がけてきた。

すでに、清須市内の本社内には開業医と連携してデイサービス拠点を新設。2階部分を住宅として、調剤事業を一元的に管理している。このノウハウを生かして老人ホームを新設するが、軌道に乗れば事業基盤とする清須市内でも新設を検討している。

買い物支援などを事業化

した「買援隊」なども展開。今後、既存事業とも連携させたい考え。「調剤に頼っている薬局を取り巻く環境は年々厳しくなっている。当社が薬局の無限の可能性を引き出すことで、他の事業者にもノウハウを役立ててもらえるようにしたい」（辻社長）と意欲を燃やしている。